

35	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14103013	固相 / 液相法による天然有機化合物ライブラリー構築法の開発	高橋 孝志 (東京工業大学・大学院理工学研究科・教授)	A
(意見等) 本研究代表者は、医薬品業界では不可欠なコンビナトリアルケミストリーの先駆者の一人として知られ、天然化合物をリードとするライブラリー構築という先導的な本課題に取り組んでいる。これまでの研究経過において、たとえば糖鎖ライブラリーの構築について、7 成分ワンポットグリコシル化反応による 7 つの異なる単糖をワンポットで連結するという合成が可能であることを実証し、そのライブラリー化にも成功したことなど概ね計画通りに研究が進んでいる。その波及効果は大きい。今後、脂環式化合物や糖ペプチドをターゲットとするライブラリー構築の進展が期待される。研究の機軸となる選択的反応の新しい系をすでに見出しているので今後の展開に期待したい。				
36	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14103014	遷移金属を活用したプログラム分子集合：ナノ領域物質群の創出と機能発現	藤田 誠 (東京大学・大学院工学系研究科・教授)	A
(意見等) 本研究は自在に設計可能な有機分子の特性と剛直な金属原子の特性を巧みに組み合わせることにより、プログラム通りのナノスケール物質の創成という新しい領域を切り開こうとするもので、本研究代表者のこれまでの実績に基づいた独創的かつ波及効果の高い研究課題である。これまでの研究経過において、ナノチューブ型自己集合性錯体の合成には成功しており、概ね順調な経過といえる。しかしながら、目的の一つである「特異なナノ機能の開拓」については今後の進展に期待したい。				